

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第16号

第16週(4月14日～4月20日)

発行年月日:平成15年(2003年)4月28日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (16週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (16週)	全国 (16週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	151	6	693
	パラチフス	0	0	10	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	141	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	144	6	453
	エキノкокクス症	0	0	7	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	277	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	32	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	26	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	3	257	6	888
	ツツガムシ病	0	1	35	0	329
	梅毒	0	1	136	4	561
	破傷風	0	1	21	0	105
	レジオネラ症	0	0	39	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0.30	0.09	0	0	0.38	1.43	0.29	0	
咽頭結膜熱	0.81	3.57	0.17	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.47	0.57	1.00	0	0.40	0.50	0.25	0	
感染性胃腸炎	6.41	9.57	14.00	4.25	1.00	4.25	0.50	6.50	
水痘	1.41	1.71	2.17	1.50	1.00	1.00	1.00	0.50	
手足口病	0.22	0.71	0.17	0.25	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.06	0	0	0	0.20	0.25	0	0	
突発性発疹	0.69	1.00	1.00	0.75	0	0.25	1.00	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.03	0	0	0	0	0	0.25	0	
ヘルパンギーナ	0.31	0.14	1.33	0	0	0	0	0.50	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.34	0.29	0.83	0	0.40	0	0	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.71	1.00	3.00	0	0	1.00	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

定点当たり患者数

3)今週のトピックス

咽頭結膜熱の発生は急増 感染性胃腸炎の発生は増加傾向 日本におけるSARSの疑い例等の報告状況

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎等の定点当たり患者数が増加しています。また、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

インフルエンザについては、定点当たり患者数は0.30となり減少傾向が続いていますが、彦根保健所管内においては、定点当たり患者数が1.43と多くなっています。

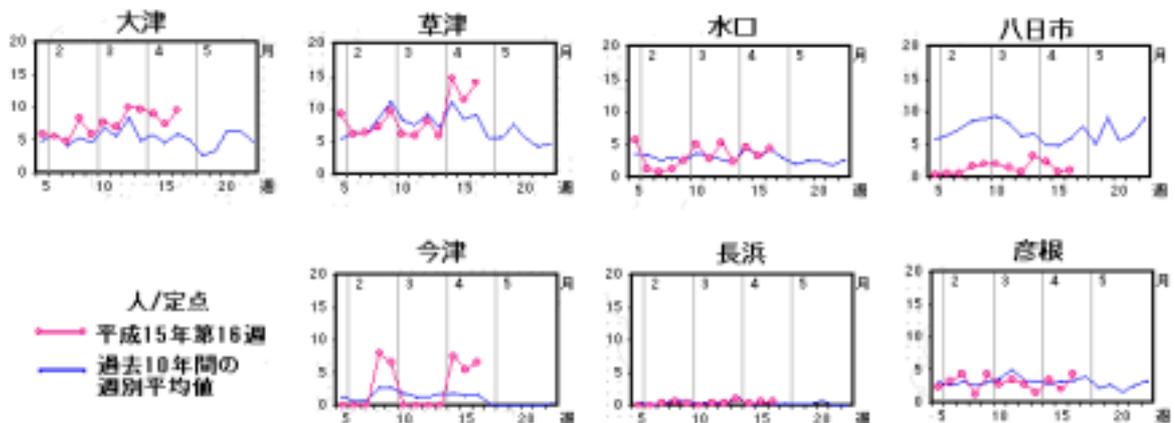
咽頭結膜熱については、大津保健所管内の定点当たり患者数が先週に引き続き3.57と多くなっています。

感染性胃腸炎については、草津保健所管内の定点当たり患者数が14.00と多くなっています。また、大津および今津保健所管内においても多くなっています。

ヘルパンギーナについては、草津および今津保健所管内における定点当たり患者数が多くなっています。

感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況は下記のグラフのとおりです。

感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(平成15年第16週)



日本におけるSARSの疑い例等の報告状況(平成15年4月23日17時現在、厚生労働省)

	報告日	件数	備考
疑い例	4月21日まで	40	「SARS対策専門委員会」にてSARSは前例否定されている。
可能性例	4月19日まで	16(2)	・ 14例については「SARS対策専門委員会」にて否定されている。 ・ 残り2例(()内)については、回復はしているが、SARSの感染を完全に否定するだけのデータがないので、引き続き情報収集を行う必要があるとされた。
確定例	4月23日まで	0	

参考:疑い例と可能性例について

【疑い例】

2002年11月1日(注1)以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・ 38度以上の急な発熱
- ・ 咳、呼吸困難感(注2)などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・ 発症前、10日以内に、原因不明の重症急性呼吸器症候群の発生が報告されている地域(WHOが公表したSARSの伝播確認地域)へ旅行した者
- ・ 発症前、10日以内に、原因不明の重症急性呼吸器症候群の症例を看護・介護するか、同居しているか、(注3)患者の気道分泌物、体液に触れた者

【可能性例】

疑い例であって、

- ・ 胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

または

- ・ 原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者

* (注1) ~ (注3)の変更及び(注4)備考の削除は、WHOの4月1日付け改訂に準じる。

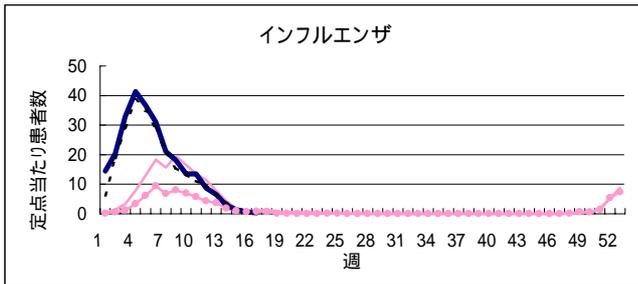
(注1) 2002年11月1日に変更

(注2) 症状から、「息切れ」が削除された。

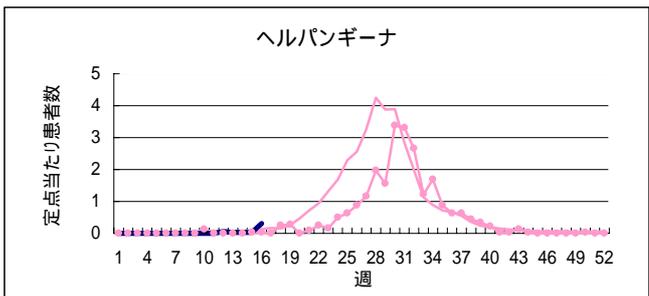
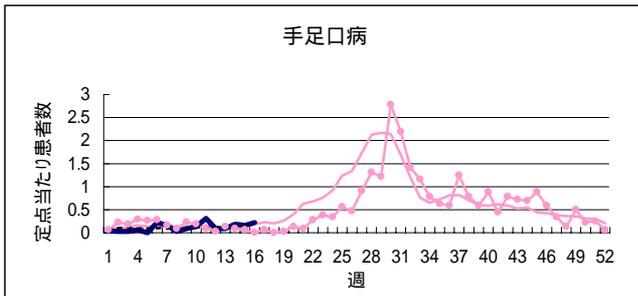
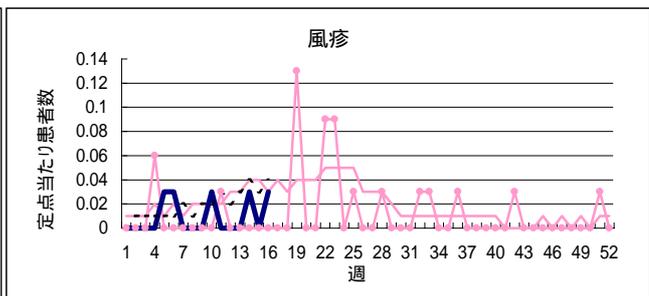
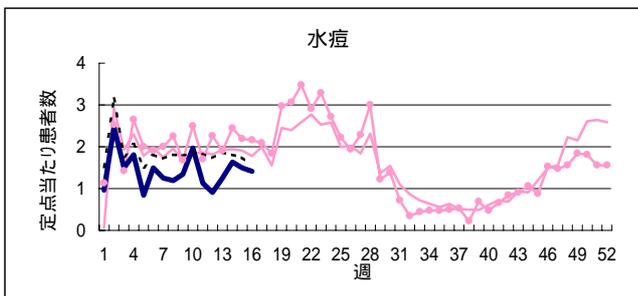
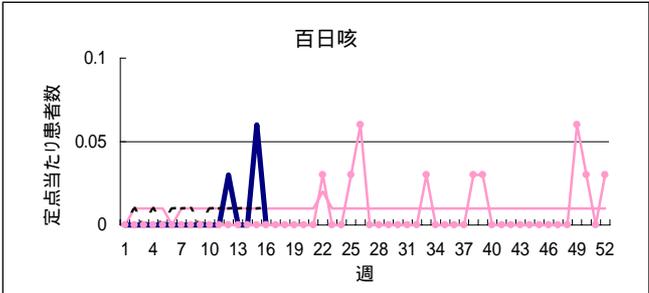
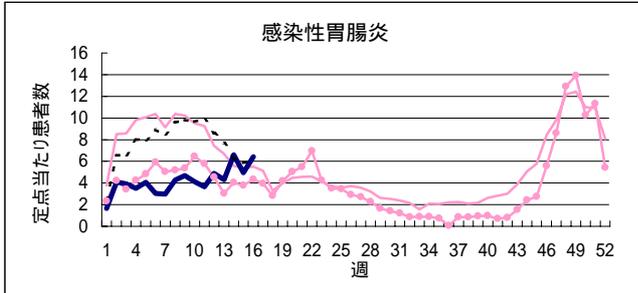
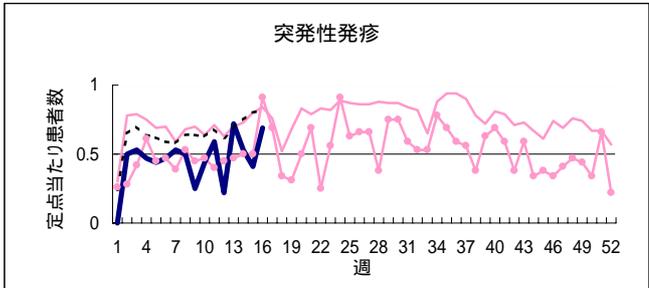
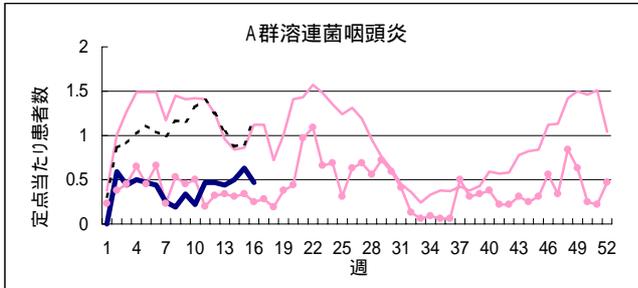
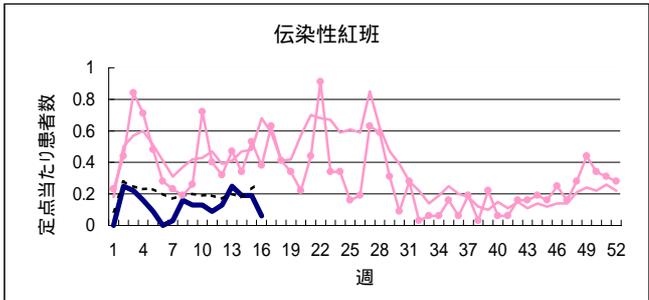
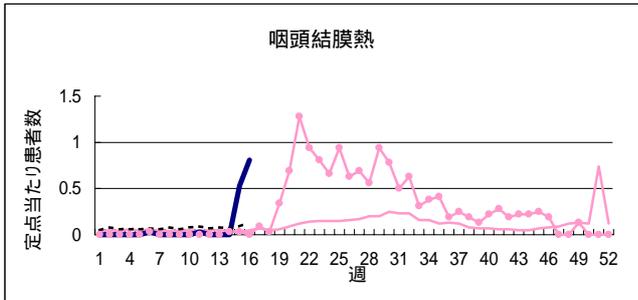
(注3) 接触状況で「近距離で接触するか」が削除された。

(注4) 備考が削除された。

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第16週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (light pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第16週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ○○○○○○
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 ……………

